交付運用報告書

Asset Management One

バンクローン・ファンド（ヘッジなし）

追加型投信／海外／その他資産（バンクローン）

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引き立てに預かり、厚くお礼申し上げます。
さて、ご投資いただいております「バンクローン・ファンド（ヘッジなし）」は、2018年12月10日に第70期決算を行いました。
当ファンドは、主として米国企業向けバンクローン（貸付債権）に実質的な投資を行い、高水準のインカムゲインの確保を目指して運用を行います。外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行いません。当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに第65期から第70期までの運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2018年６月12日～2018年12月10日

第65期	決算日：2018年７月10日
第66期	決算日：2018年８月10日
第67期	決算日：2018年９月10日
第68期	決算日：2018年10月10日
第69期	決算日：2018年11月12日
第70期	決算日：2018年12月10日

第70期末（2018年12月10日）	基準価額	11,250円
	純資産総額	7,935百万円
第65期～第70期	騰落率	2.5%
	分配金合計	300円

（注１）騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。
（注２）△（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 0120-104-694
（受付時間：営業日の午前９時から午後５時まで）

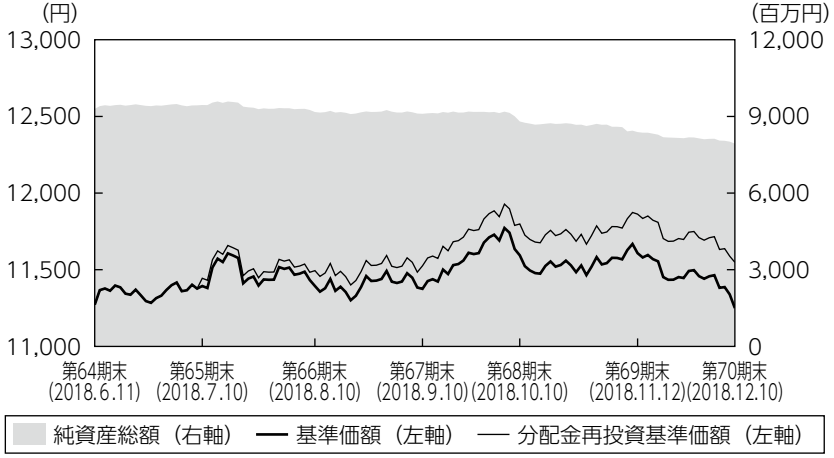
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2　http://www.am-one.co.jp/

運用経過の説明

基準価額等の推移



第65期首：　11,272円
第70期末：　11,250円
（既払分配金300円）
騰　落　率：　　2.5%
（分配金再投資ベース）

（注１）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注２）分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
（注３）分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
（注４）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示してあります。
（注５）当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として米国企業向けバンクローン（貸付債権）に実質的な投資を行い、高水準のインカムゲインの確保を目指して運用を行いました。このような運用を行った結果、当作成期間における基準価額は上昇しました。（文中の基準価額には当作成期間の分配金（累計）を単純に加算しております。）

上昇要因

安定した利回りからバンクローン市場が上昇したことや、米ドルが対円で上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

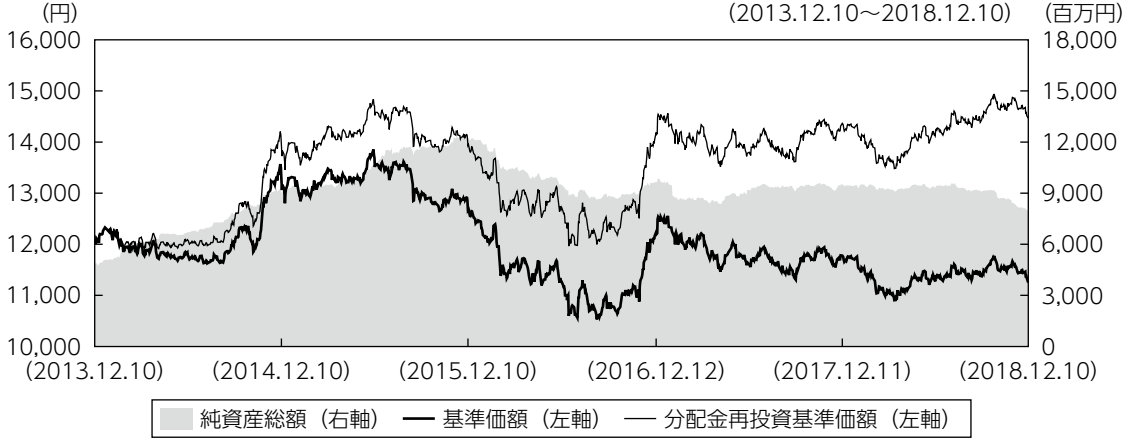
特にありません。

１万口当たりの費用明細

項目	第65期～第70期 (2018年６月12日 ～2018年12月10日)		項目の概要
	金額	比率	
(ａ) 信託報酬	67円	0.582%	(ａ) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は11,487円です。
(投信会社)	(22)	(0.188)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(43)	(0.377)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(ｂ) その他費用	0	0.004	(ｂ) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.002)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用
合計	67	0.586	

(注１) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
(注２) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注３) 比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。項目ごとに小数点以下第４位を四捨五入してあります。
(注４) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。
(注５) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当たりの費用明細」が取得できるものについては組入ファンドの概要に表示することとしております。

最近５年間の基準価額等の推移



（注１）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注２）分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
（注３）分配金再投資基準価額は、2013年12月10日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2013年12月10日 決算日	2014年12月10日 決算日	2015年12月10日 決算日	2016年12月12日 決算日	2017年12月11日 決算日	2018年12月10日 決算日
基準価額（分配落）　（円）	12,089	13,264	12,666	12,235	11,778	11,250
期間分配金合計（税引前）　（円）	－	600	600	600	600	600
分配金再投資基準価額の騰落率　（％）	－	15.3	△0.1	1.9	1.3	0.7
参考指数の騰落率　（％）	－	18.5	1.2	3.3	2.9	1.8
純資産総額　（百万円）	4,883	9,080	12,162	9,662	9,510	7,935

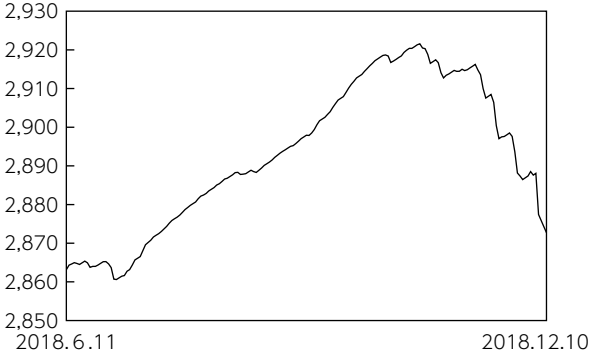
（注１）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示してあります。
（注２）純資産総額の単位未満は切り捨てて表示してあります。
（注３）騰落率は１年前の決算応当日との比較です。
（注４）当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指数はS&P/LSTAレバレッジド・ローン・インデックス（円換算）です。参考指数については後掲の＜当ファンドの参考指数について＞をご参照ください。参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。
（注５）参考指数は、基準価額への反映を考慮して、基準価額算出日前日の指数値を基準価額算出日当日の為替レート（対顧客電信売買相場仲値）で円換算してあります。

投資環境

●バンクローン市場

バンクローン市場は若干上昇しました。10月後半以降、株式市場の下落や、米国の政策金利引き上げペースが鈍化するとの観測から、バンクローン価格（キャピタル要因）が下落したものの、安定した利息収入（インカム要因）がこれを若干上回りました。

S&P/LSTAレバレッジド・ローン・インデックスの推移



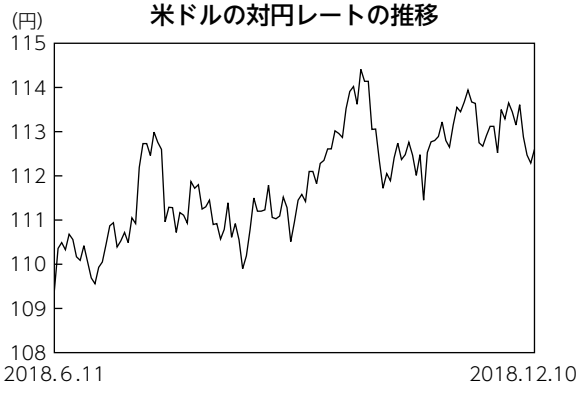
●国内短期金融市場

残存１年程度の日本国債の利回りについては、日銀の金融緩和の影響もあり、マイナス圏で推移しました。

●為替市場

米ドルは対円で上昇しました。良好な米国の経済情勢を反映して、政策金利が段階的に引き上げられたことから、日米の金利差拡大などが米ドルの上昇要因となりました。

米ドルの対円レートの推移



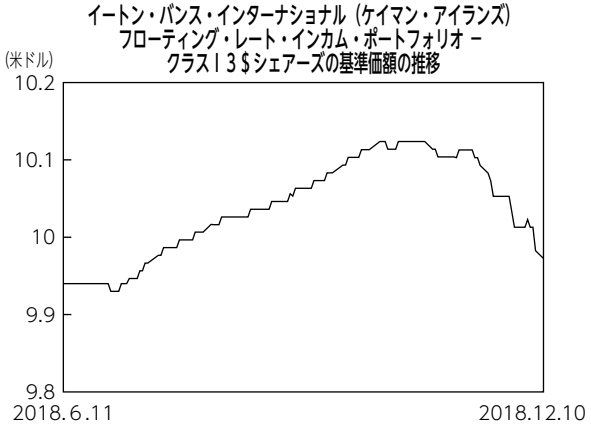
ポートフォリオについて

●当ファンド

運用方針に従い、ケイマン諸島籍の外国投資法人「イートン・バンス・インターナショナル（ケイマン・アイランズ）フローティング・レート・インカム・ポートフォリオ － クラスＩ３＄シェアーズ（以下「バンクローン・ポートフォリオ」という場合があります。）」米ドル建て投資証券（運用：イートン・バンス・マネジメント）と国内投資信託「日本短期公社債マザーファンド」受益証券（運用：アセットマネジメントOne株式会社）を投資対象とするファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行いました。バンクローン・ポートフォリオの高位組み入れを継続しました。また、日本短期公社債マザーファンドの組み入れを継続しました。

●バンクローン・ポートフォリオ

ボトムアップリサーチによる銘柄選択を行い、相対的に格付けの高いＢ格、ＢＢ格のローン組入比率を高位として、安定性を重視した運用を行いました。このようなポートフォリオを構築することで、バンクローン市場における流動性の低下やクレジットコストが増加した場合においても、運用への影響を軽減できるものと考えました。



※当作成期間における分配金（累計）を加算しています。

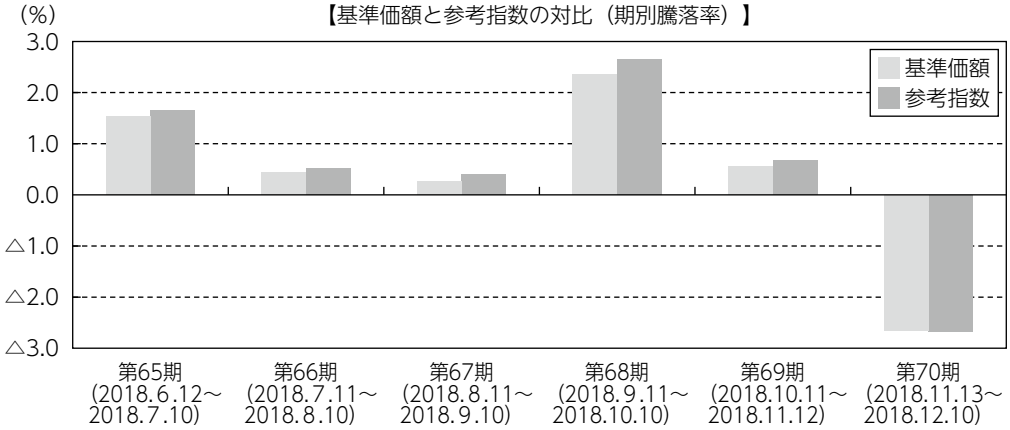
●日本短期公社債マザーファンド

主として円建ての公社債に投資することにより安定した収益の確保を目指してきましたが、ファンドにとって損失の発生が明らかなマイナス利回りの債券の組み入れを行わず、当作成期間末時点での債券の組み入れはありません。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

グラフは基準価額と参考となるS&P/LSTAレバレッジド・ローン・インデックス（円換算）の騰落率の対比です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

収益分配金につきましては運用実績・分配原資等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきました。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（１万口当たり）

項目	第65期	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期
	2018年6月12日～2018年7月10日	2018年7月11日～2018年8月10日	2018年8月11日～2018年9月10日	2018年9月11日～2018年10月10日	2018年10月11日～2018年11月12日	2018年11月13日～2018年12月10日
当期分配金（税引前）	50円	50円	50円	50円	50円	50円
対基準価額比率	0.437%	0.437%	0.438%	0.429%	0.429%	0.442%
当期の収益	38円	35円	29円	43円	37円	33円
当期の収益以外	11円	14円	20円	6円	13円	16円
翌期繰越分配対象額	2,532円	2,517円	2,497円	2,490円	2,477円	2,461円

（注１）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注２）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注３）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

世界経済に関しては、貿易摩擦の高まりや、経済基盤が不安定な国の動向には注意が必要ですが、底堅い景気が続いている米国がけん引役となり、緩やかな拡大基調が続くものとみています。金利上昇の終盤では変動金利であるバンクローンの投資妙味が相対的に薄れるものの、良好な企業業績や歴史的に低水準で推移するデフォルト（企業の倒産）率などが、バンクローン市場を支える要因になると予想します。

●当ファンド

引き続き、バンクローン・ポートフォリオおよび日本短期公社債マザーファンドへの投資を継続し、高水準のインカムゲインの確保を目指して運用を行います。

●バンクローン・ポートフォリオ

引き続き銘柄のファンダメンタルズ（基礎的条件）についてボトムアップリサーチを強化し、市場のリスク要因分析などに注力しながら銘柄の選択を行う方針です。クレジットリスクに関しては、Ｂ格、ＢＢ格ローンを中心としたポートフォリオを構築して収益の安定を図る方針です。

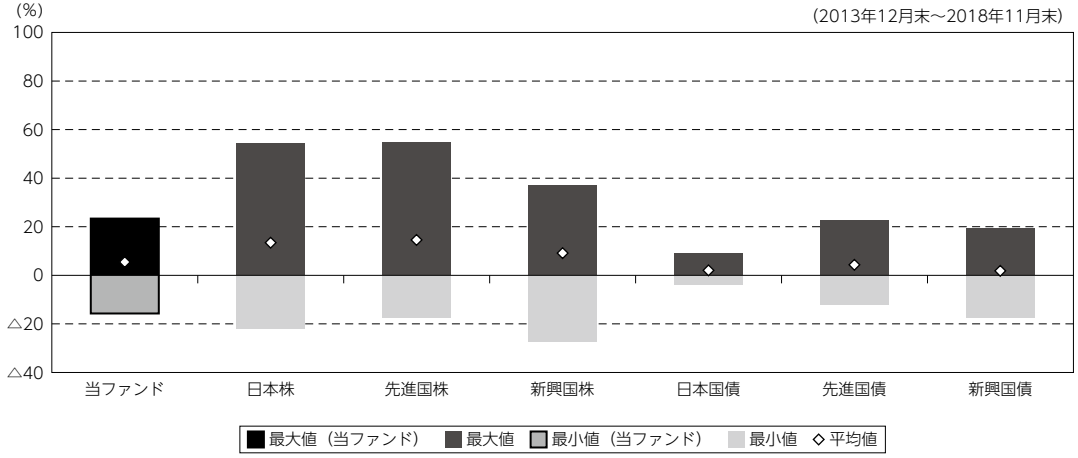
●日本短期公社債マザーファンド

引き続き短期公社債などを中心に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、市場環境によっては、目標とする運用ができない場合があります。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／その他資産（バンクローン）	
信託期間	2012年12月17日から2022年12月９日まで。	
運用方針	投資信託証券を主要投資対象として、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	バンクローン・ファンド（ヘッジなし）	投資信託証券
	イートン・バンス・インターナショナル（ケイマン・アイランズ）フローティング・レート・インカム・ポートフォリオ－クラスＩ３$シェアーズ	米ドル建ての企業向けバンクローン（貸付債権）
	日本短期公社債マザーファンド	本邦通貨建ての公社債
運用方法	以下の投資信託証券を通じて、主として米ドル建ての企業向けバンクローン（貸付債権）に実質的な投資を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 ケイマン諸島籍外国投資法人 　イートン・バンス・インターナショナル（ケイマン・アイランズ）フローティング・レート・インカム・ポートフォリオ － クラスＩ３$シェアーズ（以下、「バンクローン・ポートフォリオ」といいます。）米ドル建投資証券 内国証券投資信託（親投資信託） 　日本短期公社債マザーファンド受益証券 各投資信託証券への投資割合は、資産動向や市況動向などを勘案して決定するものとし、バンクローン・ポートフォリオの組入比率は、原則として高位とすることを基本とします。 外貨建資産については、原則として当ファンドにおいて為替ヘッジを行いません。	
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、投資信託証券からの分配金水準等を参考に委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



（単位：％）

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	23.4	54.4	54.8	37.2	9.3	22.7	19.3
最小値	△15.7	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4
平均値	5.4	13.4	14.5	9.1	2.0	4.3	1.8

（注）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
（注）2013年12月から2018年11月の５年間の各月末における直近１年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
（注）上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
（注）当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

＊各資産クラスの指数
日本株……東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）（配当込み）
先進国株…ＭＳＣＩコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株…ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
日本国債…ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債
先進国債…ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債…ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ディバーシファイド（円ベース）
（注）海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞をご参照ください。

各資産クラスの騰落率について
騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに、株式会社野村総合研究所が計算しております。株式会社野村総合研究所及び各指数のデータソースは、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、株式会社野村総合研究所及び各指数のデータソースは、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

当ファンドのデータ

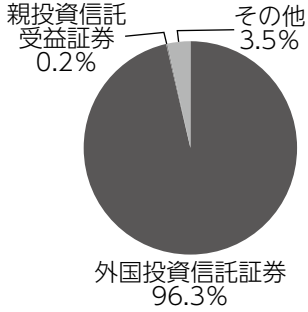
当ファンドの組入資産の内容（2018年12月10日現在）

◆組入ファンド等

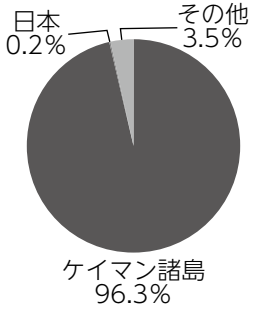
	第70期末
	2018年12月10日
イートン・バンス・インターナショナル（ケイマン・アイランズ） フローティング・レート・インカム・ポートフォリオ － クラスＩ３$シェアーズ	96.3%
日本短期公社債マザーファンド	0.2
組入銘柄数	2銘柄

（注１）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載してあります。

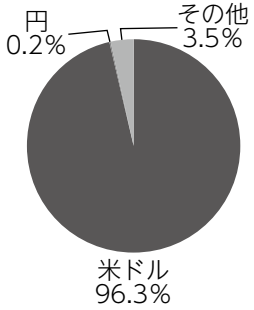
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注１）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示してあります。
（注３）その他は、純資産総額から有価証券等を差し引いた数字です。
（注４）比率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示してあります。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。

純資産等

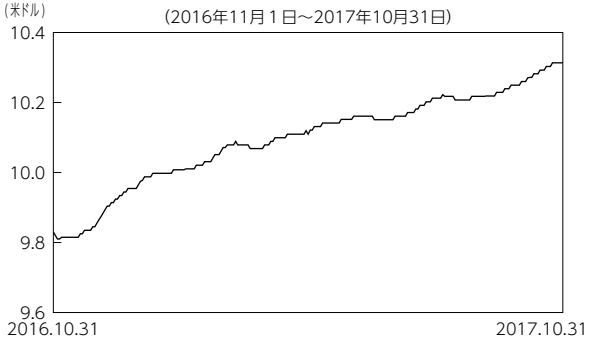
項目	第65期末	第66期末	第67期末	第68期末	第69期末	第70期末
	2018年７月10日	2018年８月10日	2018年９月10日	2018年10月10日	2018年11月12日	2018年12月10日
純資産総額	9,446,385,514円	9,171,915,210円	9,102,829,693円	8,803,083,451円	8,386,709,552円	7,935,409,918円
受益権総口数	8,290,516,326口	8,049,512,443口	8,002,801,725口	7,593,075,287口	7,225,055,515口	7,053,548,973口
1万口当たり基準価額	11,394円	11,394円	11,375円	11,594円	11,608円	11,250円

（注）当作成期間（第65期～第70期）における追加設定元本額は405,092,182円、同解約元本額は1,595,069,214円です。

組入ファンドの概要

［イートン・バンス・インターナショナル（ケイマン・アイランズ）フローティング・レート・インカム・ポートフォリオ － クラスＩ３$シェアーズ］

◆基準価額の推移



◆１万口当たりの費用明細

(2016年11月１日～2017年10月31日)

当該期間の１万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

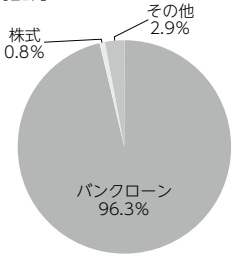
◆組入上位10銘柄

(2017年10月31日現在)

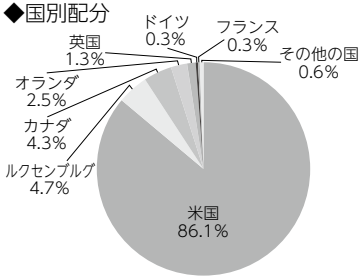
	銘柄名	業種／種別等	通貨	比率
				%
1	Transdigm, Inc.	バンクローン	米ドル	1.11
2	Valeant Pharmaceuticals International, Inc.	バンクローン	米ドル	1.03
3	Reynolds Group Holdings Inc.	バンクローン	米ドル	1.02
4	Infor (US), Inc.	バンクローン	米ドル	1.02
5	Univision Communications Inc.	バンクローン	米ドル	0.95
6	Asurion LLC	バンクローン	米ドル	0.91
7	Change Healthcare Holdings, Inc.	バンクローン	米ドル	0.89
8	Charter Communications Operating, LLC	バンクローン	米ドル	0.88
9	Jaguar Holding Company II	バンクローン	米ドル	0.85
10	Realogy Corporation	バンクローン	米ドル	0.82
組入銘柄数		494銘柄		

（注１）比率は、イートン・バンス・インターナショナル（ケイマン・アイランズ）フローティング・レート・インカム・ポートフォリオの純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）「イートン・バンス・インターナショナル（ケイマン・アイランズ）フローティング・レート・インカム・ポートフォリオ － クラスＩ３$シェアーズ」は、「イートン・バンス・インターナショナル（ケイマン・アイランズ）フローティング・レート・インカム・ポートフォリオ」の個別クラスとなっております。
（注３）上記の表は、イートン・バンス・マネジメントが作成したデータをもとに記載してあります。
（注４）組入銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）に記載してあります。

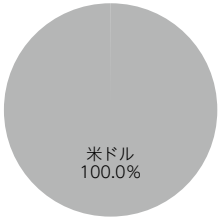
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分

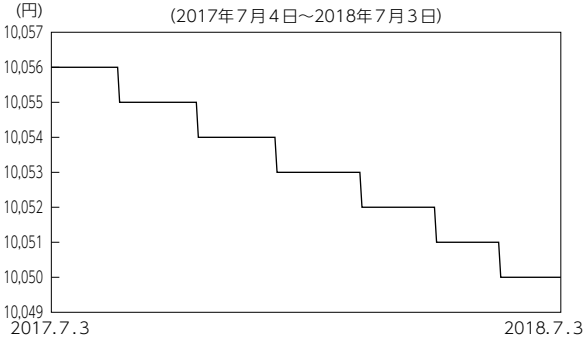


（注１）資産別配分の比率は、イートン・バンス・インターナショナル（ケイマン・アイランズ）フローティング・レート・インカム・ポートフォリオの純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）その他は、純資産総額から有価証券等を差し引いた数字です。
（注３）「イートン・バンス・インターナショナル（ケイマン・アイランズ）フローティング・レート・インカム・ポートフォリオ － クラスＩ３＄シェアーズ」は、「イートン・バンス・インターナショナル（ケイマン・アイランズ）フローティング・レート・インカム・ポートフォリオ」の個別クラスとなっております。
（注４）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示してあります。
（注５）国別配分、通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。
（注６）比率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示してあります。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。
（注７）上記のグラフは、イートン・バンス・マネジメントが作成したデータをもとに記載してあります。

［日本短期公社債マザーファンド］

◆基準価額の推移

（2017年７月４日～2018年７月３日）



◆１万口当たりの費用明細

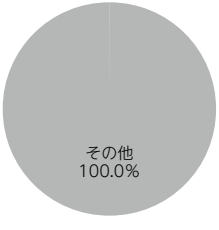
（2017年７月４日～2018年７月３日）

該当事項はございません。

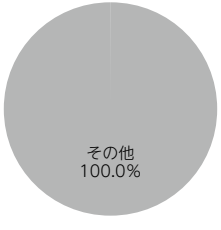
◆組入上位10銘柄

2018年７月３日現在、有価証券等の残高はございません。

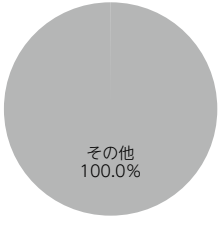
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注１）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）その他は、純資産総額から有価証券等を差し引いた数字です。
（注３）比率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示してあります。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。

＜当ファンドの参考指数について＞

●S&P/LSTAレバレッジド・ローン・インデックス（円換算）

・S&P/LSTAレバレッジド・ローン・インデックスは、米ドル建てのバンクローンを対象として、S&Pが定める一定の条件を満たしている銘柄によって構成される指数です。

・S&P/LSTAレバレッジド・ローン・インデックスは、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCまたはその関連会社の商品であり、これを利用するライセンスが委託会社に付与されています。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLC、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングズLLCまたはその関連会社は、いかなる指数の資産クラスまたは市場セクターを正確に代表する能力に関して、明示または黙示を問わずいかなる表明または保証もしません。また、S&P/LSTAレバレッジド・ローン・インデックスのいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

・S&P/LSTAレバレッジド・ローン・インデックス（円換算）は、S&P/LSTAレバレッジド・ローン・インデックスをアセットマネジメントOneが円換算し、指数化したものです。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

●「東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。

●「ＭＳＣＩコクサイ・インデックス」は、ＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．に帰属します。また、ＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックス」は、ＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．に帰属します。また、ＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●「ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本）」は、ＦＴＳＥ　Ｆｉｘｅｄ　Ｉｎｃｏｍｅ　ＬＬＣにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はＦＴＳＥ　Ｆｉｘｅｄ　Ｉｎｃｏｍｅ　ＬＬＣの知的財産であり、指数に関するすべての権利はＦＴＳＥ　Ｆｉｘｅｄ　Ｉｎｃｏｍｅ　ＬＬＣが有しています。

●「ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ディバーシファイド」は、Ｊ．Ｐ．モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はＪ．Ｐ．モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

Asset
Management
One